

おおみねやま
コース 5 大峰山周回

リーダー CL M/T SL K/T

実施日 平成27年5月3日(日・祝) 天候 晴れ

参加者 30 (男性 7 女性 23)

グレード B上

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		7:25	新津駅西口～水原～新発田経由
道の駅加治川	8:35	8:50	靴を履き替える
法印瀑登山口	9:00	9:05	ストレッチをして1班より出発。途中1回休憩
尾根分岐	10:35	10:45	休憩
大峰山頂上	11:50	12:00	集合写真
展望広場	12:10	12:50	昼食 栗島が見える
願文山	13:15	13:30	集合写真 弥彦、角田山見える
桜公園	14:00	14:20	集合写真、遅咲きの桜。「御衣黄」みごと
道の駅加治川	14:25	14:50	休憩、喉を潤したり、土産を購入したり
秋葉区役所前	16:10		新発田～水原～新津駅西口経由

山行等概要(幹事のコメント)

- 大勢の参加により、マイクロバスとジャンボタクシーの2台にする。
- 登山道は連日の晴天続きで乾いており歩きやすく、新緑の中、途中一寸した渡渉も難なく通過できた。
- 花々の最盛期は例年より一週間から10日位早まっていたが、それでもキスミレ、チゴユリの群生、エンレイソウ、イカリソウ、ニシキゴロモ、キケマン、ツツジ、オオカメノキ、ウゴツクバネウツギ、椿、その他の花々に出会うことができた。今回駄目と思っていたサンカヨウが一輪だけ我々を待っていてくれた。感激。
- 昼食予定の展望広場は休日と晴天で大勢の人で賑わっていて、私達は、全員座ることができず、山荘付近と分散して食べることになった。
- 行程最後の桜公園は盛りを過ぎていたが、数本の桜がなんとか咲き残っていて、その真下に全員笑顔の写真を撮って今日の山行を無事終えることができた。



大峰山頂上にて(399.5m)

「大峰山周回コースに参加して」

(1622) I/S

今年のGWは例年になく好天続きだったが、その半ば、5月3日の大峰山周回コースに参加した。昨年7月まで新発田市内に1年間勤務し、大峰山の位置する櫛形山脈は長さ14キロの日本一短い山脈であるとともに、春先は桜が綺麗で人気のハイキングコースと聞いていたことから、前から一度は登ってみたいと思っていた。

当日の参加者は30名で、法印瀑登山口から登り始めたが、車や電車から望む山容とは違い、思いの他いい汗を流すことになった。途中、山野草に関しては余り知識のない私だが、クラブのいいところは周りの人からいろいろと教えてもらえること。「あ！サンカヨウの花」と誰かが道脇に見つけると、その事を後ろの人に次から次へと伝え、まるで伝言ゲーム。こうしてキスミシ、イカリソウ、ウワミズザクラなどの花の名前を教えてもらいながら約1時間でこの日の最高地点501.7米の縦走コースの分岐点に到着。



願文山(248m)にて

小休憩のあと、櫛形山を左手に右折してここから大峰山を目指して1時間強の縦走。心地いい風と、櫻をはじめとした新緑に包まれ、カッコウの鳴き声を耳にしながら進むと突然視界が開け、二王子岳と遠くには残雪の飯豊連峰が一望され、みんなが歓声とともにその場にしばし立ち止まってその壮大な景色を堪能した。その後お昼過ぎに大峰山頂に到着し、記念写真を撮ってからその先の展望広場で楽しみにしていた昼食。GWで好天ということもあって広場は家族連れなどが多く、散会して各々のグループに分かれ木陰でご馳走市。いつものことながら山で食べるオニギリの美味しいこと。大満足！

下りは願文山を經由して、2時過ぎに終点の桜公園に到着。40種類、数千本の桜が植えられた全国桜の名所100選の一つだが、残念ながら桜の多くがすでに葉桜となっている中、わずかに花

を残している大輪の数珠掛桜は見事であり、その前でこの日3枚目の記念撮影を行って帰路に付く。

私にとって今年度最初のコース登山参加となったが、田植え真っ盛りでまさに「水の郷」に変わりゆく新潟平野を眼下に、新緑に包まれ鳥のさえずりを聞きながらの今回のハイキング、心身のリフレッシュと新潟の四季の素晴らしさを改めて実感した1日となった。



桜公園「関山」桜の下で